

或 (24)

福山

備後

12月10日(木)

発行所
中国新聞社
〒730-8677 電話(082)236-2111
広島市中区土橋町7番1号

備後本社
〒720-0805 電話(084)923-1717
福山市御門町3丁目2番13号

中国新聞

文芸

短歌 福山短歌会 池口渥子選

四十年使ひし手斧われに似て瘦せ
細れども未だ働く

(神石高原・田辺 俊造)

【評】長年使い古した斧(おの)と自分を共にいたわりつつ意欲にみちて気持ちよいですね。

大企業の独身寮の壊されてマイホーム建ち街となりきぬ (福山・掛谷 敏男)

他の鳥を入れぬ川面に鴨の陣阿咩の息の整ひ確ふ (福山・広本 貴一)

本郷に市塙棚田のつらなるを霧の閉させば明日香と思ふ (三原・岡村 禎俊)

眼と共に覚えも悪くなりし我見しも聞きしも忘るる多し (尾道・藤田 澄恵)

親となり自覚を持ちし孫の日々ひそかに見つつ心安らく (三原・大下 純子)

ぬくぬくと厨仕事の出来る今辛く過ぎしを思ふ時あり (福山・上西キ又工)

働いた体を西日がそっと抱く明日も頑張れ無理はするなと (三原・松金子 工子)

見終えしも見物に入る人々の笑顔行き交うサーカス入り口 (福山・石岡 一郎)

△あて先▽〒721-10903 福山市坪生町6の6の55、池口方「中国新聞短歌」。